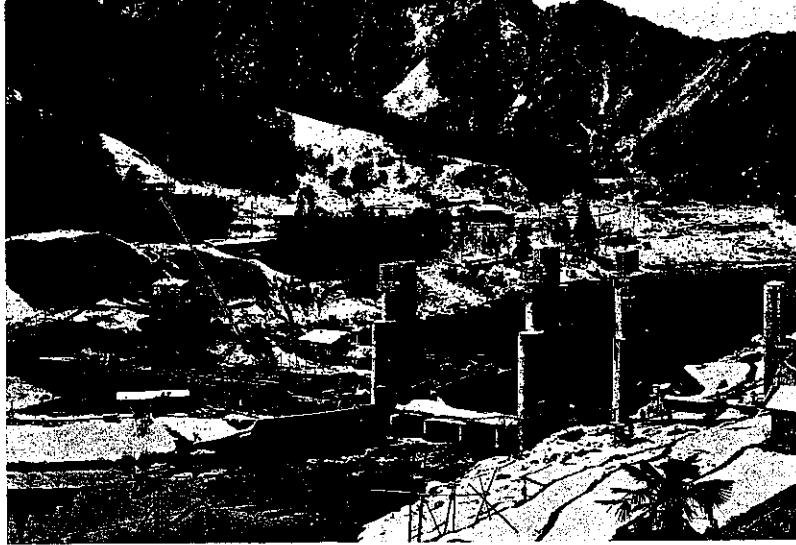


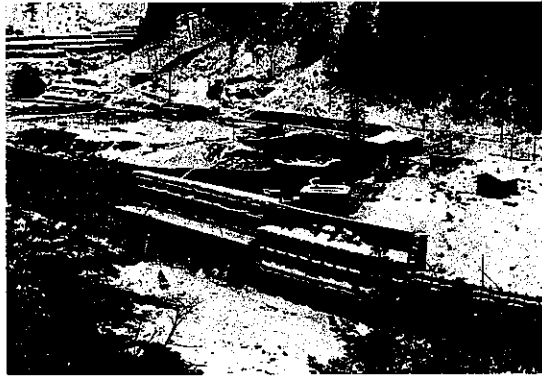
飛驒川名倉発電所工事

取入堰堤



取入口

向つて左は平水時取入口、向つて右は洪水時
豫備取入口



起業者：東邦電力株式会社
河川名：木曾川水系飛驒川
使用水量：毎秒時 67 m³
形式：取入口堰堤の背水を調整池として利用する水路式発電所
取入堰堤：平水面上高 2.70 m、上に径間 18 m、深 5 m のローラーゲート 3 門及
径間 9 m、深 8 m のローラーゲート 1 門を設く
竣工豫定：昭和 11 年 10 月

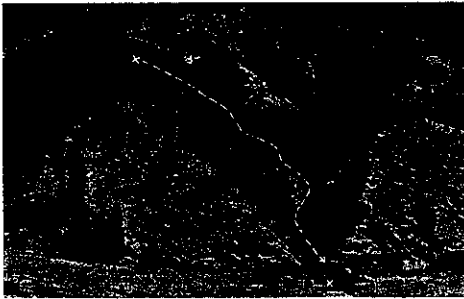
位置：岐阜縣加茂郡西白川村地内
有効落差：36.07 m
発電力：19 700 KW

高山線坂上・打保間雪崩事故

雪崩通過の痕



(昭 11. 3. 19)



(昭 11. 3. 19)

雪崩事故全景

前面の橋脚傾斜し、3月18日午後2時18分より20日午後1時迄46時間42分不通となつた。

昭和11年3月18日高山線坂上・打保間岐阜起點 170 km 835 m 第1小谷川橋梁(9.14 m 7連)の箇所にて線路右側 600 m の高所より約 20 000 m³ の大雪崩落下し、ために第1橋脚は左方へ 1° 34' 傾斜し軌條面上にて 150 mm 扛上、430 mm 左方へ移動した。